

---

# 夜道にご注意

++こねこ++

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夜道にご注意

### 【Zコード】

N7442A

### 【作者名】

++こねこ++

### 【あらすじ】

夜中の散歩を楽しむ奇人の「私」に声をかけてくる女性  
して彼女は・・・

果た

世の中には真夜中を散歩すると言つ趣味を持つ者もいる

私もその一人である、分かる人にはわかるのだろうが薄暗い道を歩くのは

実際に心地いい特に夏の夜が好きだ生温い風が首を撫で、向かい風を

身体で

受けるとまるで闇に抱かれたいるような感覚すら覚える。

「散歩ですか？」

突然声を掛けられて思わず私は情けない声を出すところだった。それもそのはずこんな真夜中に薄闇を歩くよつな奇人に声を掛けてくる人ましては間違ひなく女性のもの声であった。

この物騒な世の中、時計はゆうに「時をまわつていたと言つのこと

しかしここで折角声を掛けてくれた女性を無視するとは男がすると言つものである、首筋に滲む冷やりとした汗を薄手のTシャツに滲ませつつ

「ええ、そうですよ貴女もですか？」

振り返りつつ我ながら氣の利いたい台詞が出たと感心した。なんと振り返ると思った以上に可愛い子ではないかこれは得したなどとわざとまで顔面蒼白になりながらびくびくしていった情けないくらいである。

彼女は今風の服を着こなしてすらりとしているが私よりちょっと幼く見える

綺麗な黒髪は闇の中だというのに綺麗に輪郭が見えるかのようだ

「いえ、飲み会の帰りで夜道を一人で歩いているとついつい心細くなつて

ついつい声をかけてしましました」

彼女は軽くバツかるそつに笑いすぐ横まで歩いて来た。

近づくと尚、彼女の可愛さが際立つ顔立ちはとても若く見えとても二十歳とは思えないほどである、それよりも心細いと言う理由だけで見ず知らずの男性に着いて来るとは結構危ないので無いかと他人事ながらついつい心配してしまった。

「家は近いの?」

さりげなく家まで送つてあげようと私の紳士っぷりをアピールしてみた。

彼女はその闇の中では一段と栄えて見える綺麗な細い白い指で指差した。

どうやら指でわせるといつぱり近いらしく、それなら走つて帰つたほうが

安全だつたのではないかと思いながらも乗りかけた船だけに断れない

どうやら彼女は友達の飲み会で少々飲みすぎていたのか、えらく饒舌で

色々と喋つてくれた。仲良しの四人と飲み駅まで送つてもらえたらいい

地元の駅から家がちょっと遠いことや実家で住んでいることやこの道は

夜でも車の通りが多く危なく轢かれかけた話までしてくれた。

「それでね、危なくひかれかけてやばかったよ」

笑いながら喋つていてるが結構危ないことである、私はあまり飲みすぎては

いけないやらつといつい説教っぽくなつてしまつたが

彼女は笑つてゐるだけだつた。

「あ、家につきました」

どうやら両親は娘の帰りを待つていてかのようだ部屋に明かりが灯つていた

わざわざありがとうござりますと言しながら彼女は深々と頭を下げ

た。

まだ少し酔っているようだが無事家についてよかつた。  
私はそういうながら彼女が玄関に入るまで見送つてあげた。

「それでね、その男の人があなたまで送つてくれたんだよ」

またこの子は酔つ払つて帰つてそういう言ひながらも、お母さんは私  
に暖かい

ココアをいれてくれた。甘く暖かいココアを飲みながら私は道を送  
つてくれた

優しい人を思い浮かべた

。

「そうそう最近ここで事故死した男の人があなたらしいんだからち  
ゃんと飲みすぎないで帰つてきなさいよ、夜中にうるうるしている  
と危ないんだから」

私はそのお母さんの言葉で血の気が引いた。

私を送つてくれたのは

(後書き)

初めて小説を投稿させてもらいます。  
ご感想などあればメールしてくれれば嬉しい限りです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7442a/>

---

夜道にご注意

2010年12月31日04時48分発行